

ミステリ読書案内

2024. 2. 28 発行元

第555号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

小川哲「君のクイズ」

『このミステリーがすごい!』の年間ランキングの第7位になった『君のクイズ』を読んでみた。一昨年(2022)の10月に朝日新聞出版から出た本。評判通りの面白さだった。「私好み」のミステリという感じもする。

クイズ・ミステリ

小川哲の作品を読むのはこれが初めて。『地図と拳』はまだ読んでいない。本書が面白いのは徹底して「クイズ」だけに話を絞ってある「クイズ・ミステリ」だということ。

出題される問題ひとつひとつに興味をひかれるということもあるけれども、「そうかクイズの世界ってこんな風になっているんだ」と気付かされること連続。説明されるひとつひとつの出来事に「納得!」の感覚が続く。

出題される前に答えるとは?

出だしに示される大きな謎は「まだ一言も問題文が発せられていないのに、クイズの答えが正解となることは可能か?」ということ。主人公の三島玲央が「Q-1グランプリ」の決勝で対戦したのは本庄絆。「問題-」とアナウンサーが問題文を読もうとすると、絆がボタンを押した。「答えは…」「ピンポン」正解だ。玲央は唖然とする。まだ一文字

も聞いていないのに、相手が正解を言い当てるとは…。最初に思い浮かぶのは「ヤラセではないか」ということ…。出題者と回答者が連携して仕組みれば、答えることはできる。でも玲央の思いにはそう断定できない何かが残るのだった。

クイズの世界はすごい!

私はテレビでクイズ番組を見ることはほとんどない。テレビを見るのはニュースとスポーツに限っているからだ。外出している時に近くのテレビのクイズ番組がかかっていたりするが、私には瞬間で答えるのがなかなか難しいのだ。ゆっくり考える時間がほしい。

私の知識量は多くの人よりは豊富と思うのだ。特に理科関係と社会、中でも地理と歴史に強い。でも、クイズは駄目だな。とても無理そうに見える。「クイズ王」などという人は超人に見える。

よく百人一首で最初の一文字、二文字で札を取りに行く話を聞くが、クイズで一文字、一文節で答えを

小川哲の作品リスト

1. ユートロニカのこちら側
2. ゲームの王国 上下巻
3. 嘘と正典
4. 地図と拳
5. 君のクイズ
6. 君が手にするはずだった黄金について
スタートはSF系だったようだ。
徐々にミステリ系統に移行してきているような現状。

出すのとはどうて人間技には思えない。ぎりぎりの争いの中ではボタンを押してから答えを記憶の中から捻り出すという。失敗も恐れずに勝ちに行くところがすごい。

本書の狙いから言って当然のことだとは思いますが、問題が難しすぎ。専門にやっている人でないと答えられないことばかり。阪神淡路大震災の原因になった淡路島の「野島断層」、私は授業の中で何度も説明したから知っているけれども…。

最後に煮詰められた答えは…

脇道にそれることなく、ひたすら情報を集めて「なぜ答えることができたか」に迫っていく過程は「私好み」の流れ。ロジックであって、他人の思惑、感情などは極力排除してあるところがよい。結論が納得できるので更により。

まだ他の作品の中身が掴めていないが他作品も気になってくる。

伊吹亜門「焰と雪 京都探偵物語」

昨年8月に早川書房から出た

本。『このミス』年間ランキングでは第15位にランクされた作品。伊吹亜門という作家は2015年のデビューだが、作品数は極めて少ない。『刀と傘』で本格ミステリ大賞を受賞。ロジックの組み立てには定評がある。明治時代を中心にしたやや歴史ミステリ仕立ての内容の作品が多い。本書は大正時代の京都を舞台にした連作短編集の形式で、5編が収録されている。話の中心は府警刑事を辞めて探偵事務所を開いた鯉城が勤めているが、最終的な推理を組み立てるのは病弱な安楽椅子探偵の形になる露木可留良の役目。

第一話『うわん』は、材木商の小石川市蔵から依頼を受けた鹿ヶ谷にある別荘の化け物騒ぎ事件。鯉城が一晩泊まってみると確かに唸り声とか叫び声のような音が聞こえ、黒い姿のようなものが見えたが、すぐに消えてしまった。報告をした次の日、市蔵が再び別荘に行くという連絡をもらい、後から訪ねようとする、途中の山道で店の小僧と出会い…。聞くと、市蔵と書生の梶が別荘の中で死んでいるという…。警察が来るまでの間に鯉城が現場を調べてみると…。その結果を伝え聞いた露木の推理は…。いくつかの可能性を並列にする流れが多く、決定的な証拠が示されない展開が多い。小さなロジックの積み上げはあるのだけれども結末は曖昧にしたままに終わることも。その辺のスッキリ感のなさが、伊吹ミステリの弱いところでもある。